

中間報告のみならず、最終的に12月に報告する。  
 5年分を同じくするが、それ以前はどうか？とのも含めて報告する予定。  
 取組に「これからの11月27日は？」という意識が強い。  
 「出入りお世話は？」という問いに「同じ」に答えている。  
 全員の協議会資料  
 公金經理の適正化について

平成 20 年 11 月 25 日  
 財 政 部

1 調査結果の概要

① 補助事業に係る不適切な經理の状況(平成 15 年度～平成 20 年度)

単位：千円

所属	預け金	差替え	一括払	年度越	左のうち 先払い	前年度 納品	賃金	旅費	計
建設部	22,492	162	0	67	0	0	0	0	22,721
都市整備部	3,916	3,111	9	806	(361)	34	0	44	7,920
下水道部	12,581	690	0	0	0	0	0	443	13,714
教育委員会	1,511	896	0	3,839	(3,839)	0	0	0	6,246
玉山総合事務所	0	972	0	0	0	0	0	0	972
計	40,500	5,831	9	4,712	(4,200)	34	0	487	51,573

千円未満四捨五入につき端数調整

② 補助事業以外の需用費の不適切な經理の状況(平成 18、19 年度)

単位：千円

所属	預け金	差替え	一括払	年度越	左のうち 先払い	前年度 納品	計
市長公室	19	391	0	0	0	0	410
総務部	0	550	0	0	0	0	550
財政部	0	0	0	577	0	0	577
市民部	140	110	0	1,724	0	30	2,004
環境部	0	267	0	116	0	0	382
保健福祉部	0	228	0	203	0	0	432
商工観光部	0	24	0	0	0	0	24
農林部	146	435	0	0	0	0	581
建設部	394	250	0	163	0	0	806
都市整備部	593	469	0	310	(51)	2	1,374
下水道部	711	0	0	0	0	0	711
玉山総合事務所	0	41	0	0	0	0	41
教育委員会	591	3,277	0	5,609	(2,959)	152	9,629
計	2,594	6,042	0	8,702	(3,010)	184	17,521

千円未満四捨五入につき端数調整

2 調査結果の検証等

11 月 27 日に開催予定の盛岡市行財政構造改革推進会議第 2 回公金經理適正化審査部会で調査結果の検証を受けるとともに原因究明、改善策等についてご意見を伺う予定。

なお、同審査部会の第 1 回目の会議概要は別紙のとおり。

「私的使用はなかった、← 国の補助金に付いて、業者との「お世話し」物とお金のやり取り、単独に70215、今後の同置得ら。」

## 不適切な事案の種類の説明と具体例

### ① 預け金

事実と異なる内容の関係書類を作成するなどして、契約した物品が納入されていないのに納入されたこととして、業者に代金を支払い、後の物品購入の代金等として業者に管理させるなどしていたもの

具体例：年度末にコピー用紙等を購入したこととし、一旦代金を支払い、後にパソコンやプリンター、その他事務用品等を納入させていた。

### ② 差替え

業者に事実と異なる請求書等を提出させ、契約した物品とは異なる別の物品に差替えて納入させていたもの

具体例：図面袋やドッチファイル等を購入したこととしていたが、実際にはデジタルカメラ等を購入していた。

### ③ 一括払い

支出負担行為等の正規の会計処理を行わないまま、随時、業者に物品を納入させたうえ、後に納入された物品とは異なる物品の請求書等を提出させ、これらの物品が納入されたこととして事実と異なる内容の関係書類を作成し、需用費から購入代金を一括して支出していたもの

具体例：コンタクトボードと電卓を納入させた後、コンタクトボードとして一括支出していた。

### ④ 年度越え

契約した物品が年度内に納入されたこととし、関係書類に事実と異なる検収日付を記載するなどして需用費を支出していたもの

具体例：調査報告書の印刷を発注したが、年度内の納品が間に合わなかった。

### ⑤ 先払い

契約した物品が納入される前にこれらが納入されたこととし、関係書類に事実と異なる検収日付を記載し、需用費を支出していたもの

具体例：3月末にトナーカートリッジを発注し、納品前に代金を支払っていた。

### ⑥ 前年度納品

前年度に納品させた物品を当該年度に納品させたこととし、関係書類に虚偽の検収日付を記載するなどして需用費を支出していたもの

具体例：3月にパウチフィルム2箱を納入させたが、7月に納品されたとして代金を支払っていた。



## (別紙)

### 盛岡市行財政構造改革推進会議第1回公金経理適正化審査部会会議概要

1 日時 平成20年11月11日(火) 11:30~12:20

2 場所 市庁舎別館403会議室

3 出席者

(委員) 田島平伸委員(部会長), 小川晃子委員(職務代理者), 岩根修象委員, 斎藤純委員, 村上幸一委員

(市) 池田副市長, 川村副市長, 岩館市長公室長, 岩野総務部長, 泉山財政部長, 似内会計管理者ほか

4 会議内容

(1) 公金経理の適正化に向けた取り組みについて

- ・ 平成20年10月30日開催の全員協議会提出資料に基づき, 泉山財政部長より現状の説明
- ・ 平成20年10月31日に設置された盛岡市公金経理適正化委員会における今後の需用費の執行状況調査の要領について, 菊地財政部次長より説明

#### 【委員からの主な意見】

- ・ 資金をプールして使うのは, 市だけでなく中央官庁も含め役人はどこでもやっているようだが, だからと言って認められるものではない。徹底的に調査する必要がある。
- ・ 岩手県もそうだが, 会計検査院の指摘を丸ごと受け入れることを前提に話が進んでいるが, 補助事業の制度上の問題点があるのも明らかである。年度内に消化しろとか, 使い方に非常に制限があり, 非現実的かつ非合理的である。もっと使いやすい制度にするよう国への要望を, 全国市長会・知事会等一丸となって行うべきである。
- ・ 予算どおりできないことは分かるが, 全く別のものになってしまうと予算を作った意味がなくなる。
- ・ 補助事業で余剰金が生じた場合, 悪意性というか意図がどの程度働いていたかも調査が必要であるが, 制度上の理由により, 別名目で予算の足りない部分にまわし, 市民のために使ったという状況が生じた結果ともとれる。
- ・ プールすると, 次年度以降, 何でも使えることとなるのでやるべきではない。
- ・ 補助金の不適切な経理のほか, 市単独費の需用費についても調査するとのことであるが, これに関しても早めに調査し, 適正化に努めるべきである。
- ・ 後で数字を修正するようなことなく, 今回で全部示してもらいたい。再発防止のため, 真相究明と対応策をはっきりしてほしい。